



日本精工株式会社

**2023年3月期
2Q決算説明会**



Change & Go Beyond

2022年11月4日

本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しています。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの
一定の前提に基づいて作成しています。従って、実際の業績は、様々な要因により
業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

- 1. 2023年3月期 前半実績**
 - 2. 2023年3月期 通期予想**
 - 3. MTP2026 -収益を伴う成長へ-**
- (補足資料)**

- 1. 2023年3月期 前半実績**
 2. 2023年3月期 通期予想
 3. MTP2026 -収益を伴う成長へ-
- (補足資料)

2023年3月期 前半実績サマリー①

事業環境

- 中国ゼロコロナ政策による経済活動制限
- 半導体不足などサプライチェーン問題は継続
- 鋼材・輸送費・エネルギーのインフレ拡大
- ウクライナ情勢の影響長期化
- 大幅な円安進行

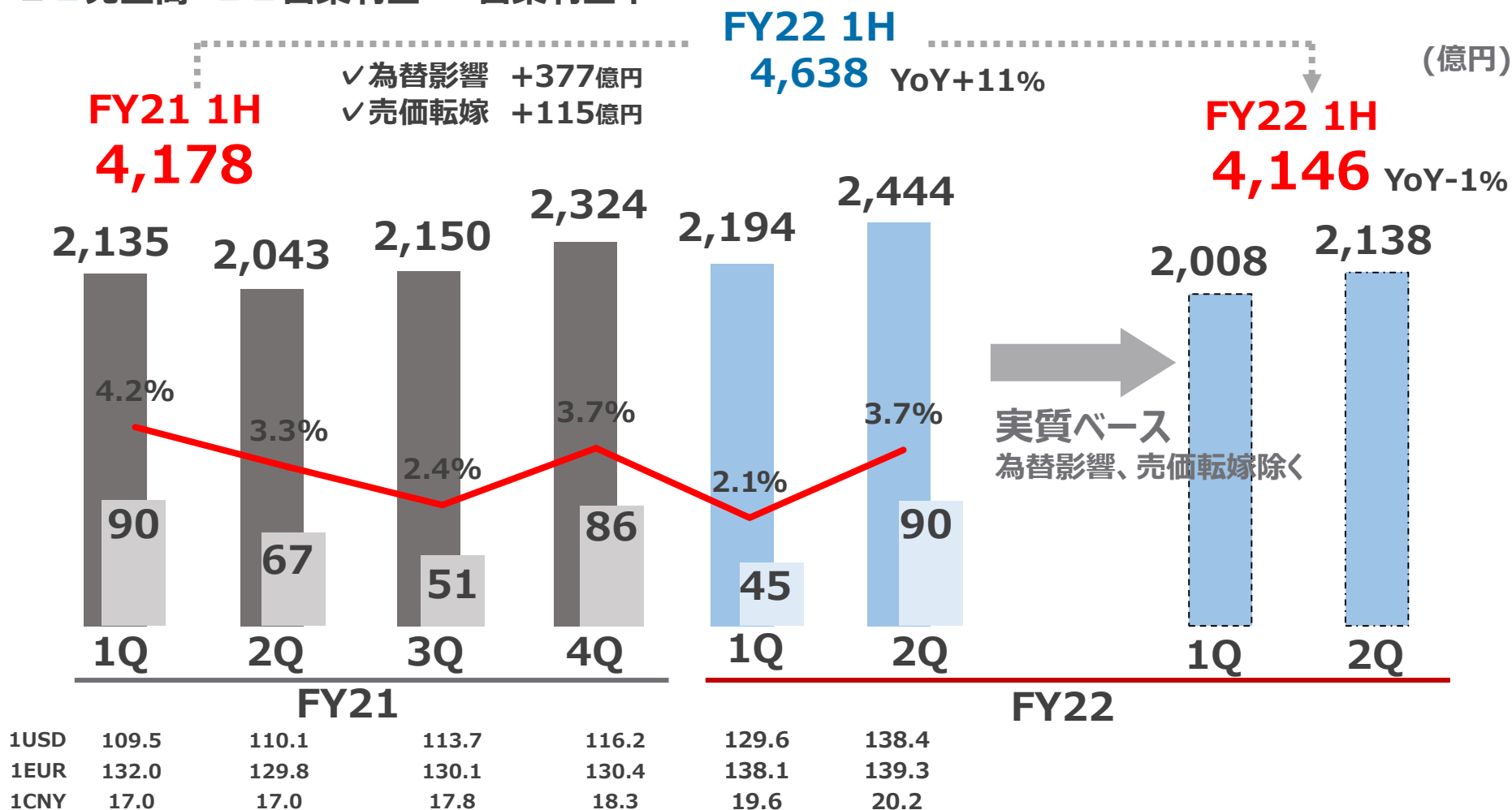
実績サマリー

	FY21	FY22	YoY		5月時点	対予想
(億円)	前半実績	前半実績	増減額	伸び率 (為替影響)	前半予想	増減額 (為替影響)
売上高	4,178	4,638	+461	+11.0% (+377)	4,500	+138 (+189)
セグメント利益 ※	162	146	-16	-10.1% (+83)	115	+31 (+47)
(対売上高率)	(3.9%)	(3.1%)			(2.6%)	
営業利益	157	135	-22	-13.8% (+83)	110	+25 (+47)
(営業利益率)	(3.8%)	(2.9%)			(2.4%)	
税引前利益	156	128	-28	-17.9%	110	+18
当期利益	78	60	-17	-22.3%	70	-10
(親会社所有者帰属)						
換算レート1USD	109.8	134.0	+24.2	+22.0%	120.0	+14.0
" 1EUR	130.9	138.7	+7.8	+6.0%	130.0	+8.7
" 1CNY	17.0	19.9	+2.9	+17.0%	19.0	+0.9

※セグメント利益：営業利益からその他の営業損益（為替差損益ほか）を除いたもの

2023年3月期 前半実績サマリー②

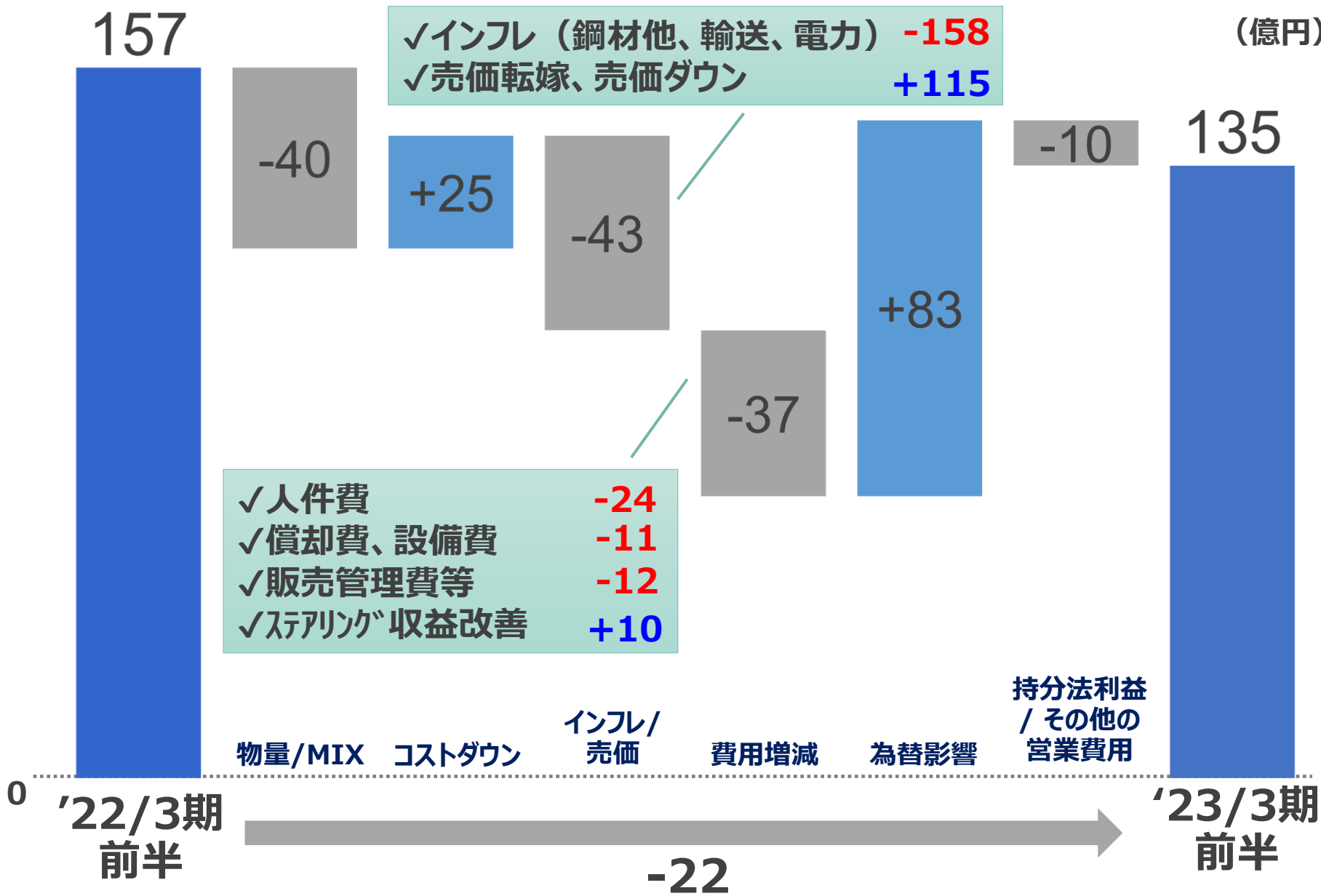
■ 売上高 ■ 営業利益 - 営業利益率



- FY22前半実績は為替、売価転嫁の影響除くと実質物量は減少
- 2Q実績は上海等のロックダウン影響からの回復もありQoQ増収

営業利益 増減内訳 ('22/3期前半 ⇒ '23/3期前半)

(億円)

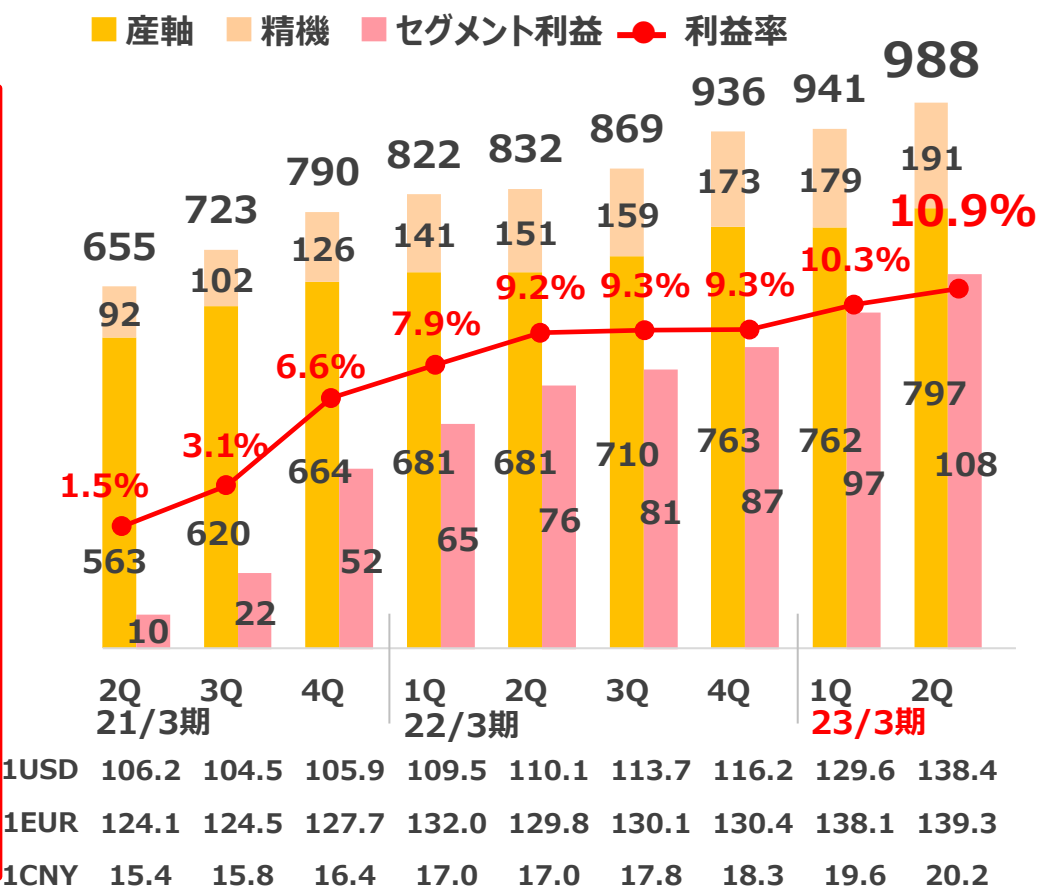


2023年3月期 前半実績 -産業機械事業-



(億円)

	22/3期 前半実績	23/3期 前半実績	YoY 増減額 (為替影響)	YoY 伸び率 (為替除く)
売上高	1,653	1,929	+275 (+161)	+16.7% (+6.9%)
産業機械軸受	1,362	1,559	+197	+14.5%
精機製品	292	370	+78	+26.8%
セグメント利益	142	205	+63	+44.8%
(対売上高 率)	(8.6%)	(10.6%)		
換算レート1USD	109.8	134.0	+24.2	+22.0%
" 1EUR	130.9	138.7	+7.8	+6.0%
" 1CNY	17.0	19.9	+2.9	+17.0%



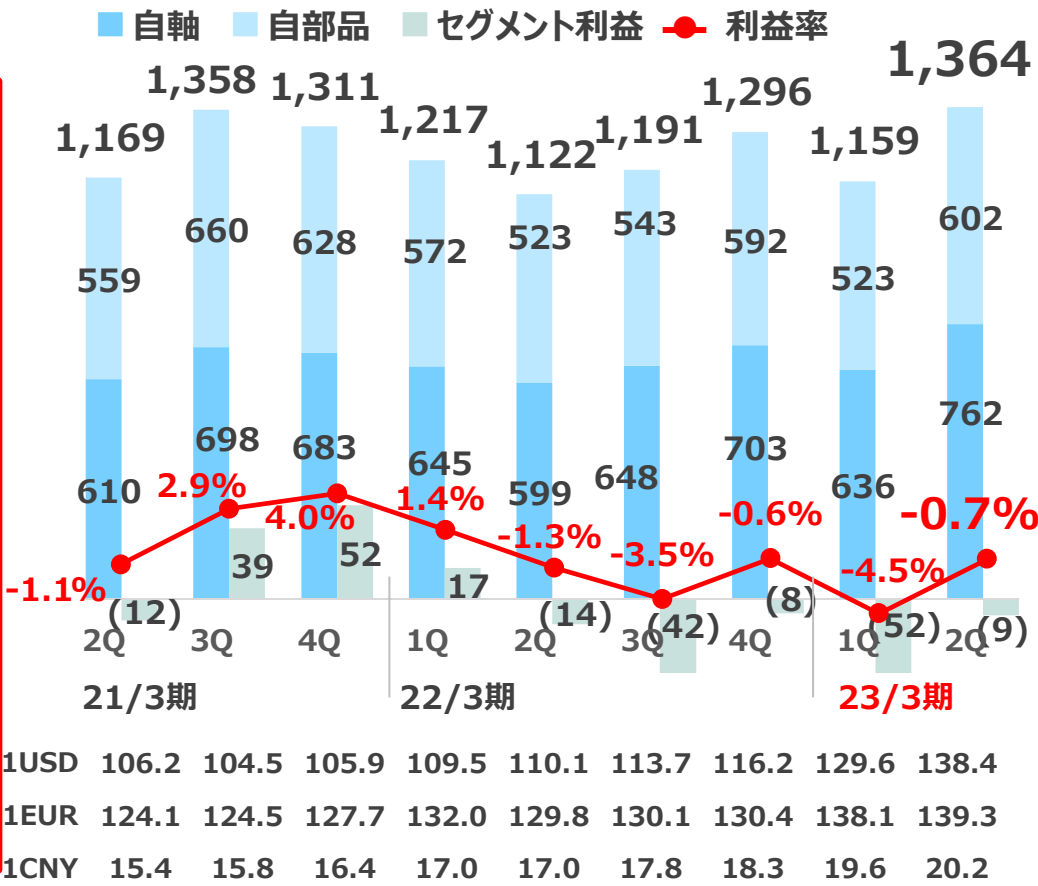
- 中国ゼロコロナ政策の影響に加え、工作機械・半導体製造装置向け足元減速も市販向けの供給増加、為替影響、インフレに対する売価転嫁で増収 (為替影響、売価転嫁を除く実質増収+3.5%)
- 利益率は2桁継続 インフレ拡大に対し追加の売価転嫁開始

2023年3月期 前半実績 -自動車事業-



(億円)

	22/3期 前半実績	23/3期 前半実績	YoY 増減額 (為替影響)	YoY 伸び率 (為替除く)
売上高	2,339	2,523	+184 (+210)	+7.9% (-1.1%)
自動車軸受	1,245	1,398	+153	+12.3%
自動車部品	1,094	1,125	+31	+2.8%
セグメント利益	3	-61	-64	-
(対売上高 率)	(0.1%)	(-2.4%)		
換算レート1USD	109.8	134.0	+24.2	+22.0%
" 1EUR	130.9	138.7	+7.8	+6.0%
" 1CNY	17.0	19.9	+2.9	+17.0%



- グローバル自動車生産台数 前半実績 36M台※当社調べ (YoY +3%)
- 為替影響、売価転嫁進展でYoY増収も、中国ゼロコロナ政策、サプライチェーン問題の長期化による日系生産調整で実質YoY減収
- 利益は度重なる減産による生産調整と売価転嫁を上回るインフレ拡大で赤字継続

1. 2023年3月期 前半実績
 2. 2023年3月期 通期予想
 3. MTP2026 -収益を伴う成長へ-
- (補足資料)

2023年3月期 通期予想

事業環境

- 産業機械事業はグローバルの需要減速を反映
自動車事業は半導体不足などサプライチェーン問題が継続
- 想定を上回るインフレに対し追加の売価値上げ
- 円安進行を背景に後半の為替レート前提を見直し (後半 USD140円、EUR140円、CNY20円)

5月公表の通期予想を見直し

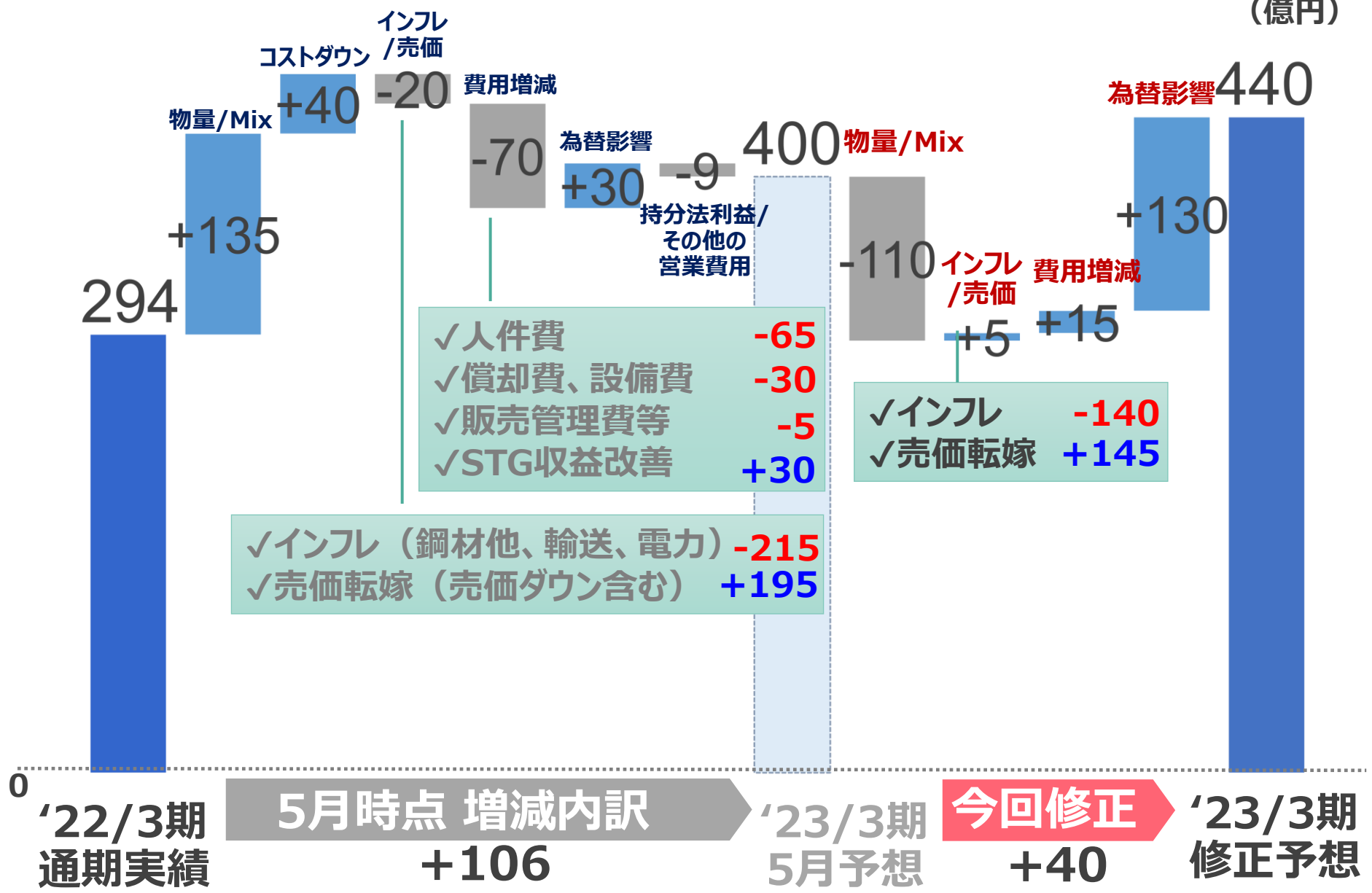
(億円)	修正予想	対 5月予想	伸び率	(為替影響)	22年3月期 通期実績
売上高	9,800	+400	+4.3%	(+500)	8,652
セグメント利益※ (対売上高率)	460 (4.7%)	+55	+13.6%	(+130)	288 (3.3%)
営業利益 (営業利益率)	440 (4.5%)	+40	+10.0%	(+130)	294 (3.4%)
税引前利益	420	+20	+5.0%		295
当期利益 (親会社所有者帰属)	270	+0	+0.0%		166
換算レート1USD	137.0	+17.0	+14.2%		112.4
〃 1EUR	139.4	+9.4	+7.2%		130.6
〃 1CNY	19.9	+0.9	+4.9%		17.5

- 配当金は計画据え置き 年間30円/株 (中間15円/株、期末15円/株)

※セグメント利益：営業利益からその他の営業損益（為替差損益ほか）を除いたもの

営業利益 増減内訳 (‘22/3期実績 ⇒ ‘23/3期修正予想)

(億円)



2023年3月期 通期予想 セグメント別

産業機械

✓後半は当初計画に対し減速を想定も販売最大化・追加の
売価転嫁で後半増収を見込む

(億円)	5月予想	前半実績	23/3期	対5月予想				22/3期
			後半予想	修正予想	増減額	(為替影響)	伸び率	通期実績
売上高	3,800	1,929	2,071	4,000	+200	(+220)	+5.3%	3,458
産業機械軸受	3,080	1,559	1,691	3,250	+170		+5.5%	2,835
精機製品	720	370	380	750	+30		+4.2%	623
セグメント利益	380	205	240	445	+65	(+90)	+17.1%	309
(対売上高 率)	(10.0%)	(10.6%)	(11.6%)	(11.1%)				(8.9%)

自動車

✓当初計画から実質下振れも後半生産台数回復で増収を見込む
✓インフレに対して追加での売価転嫁

(億円)	5月予想	前半実績	23/3期	対5月予想				22/3期
			後半予想	修正予想	増減額	(為替影響)	伸び率	通期実績
売上高	5,210	2,523	2,892	5,415	+205	(+270)	+3.9%	4,825
自動車軸受	2,950	1,398	1,657	3,055	+105		+3.6%	2,596
自動車部品	2,260	1,125	1,235	2,360	+100		+4.4%	2,230
セグメント利益 (減損除く)	0	-61	61	0	-	(+40)	-	-47
(対売上高 率)	(0.0%)	(-2.4%)	(2.1%)	(0.0%)				(-1.0%)

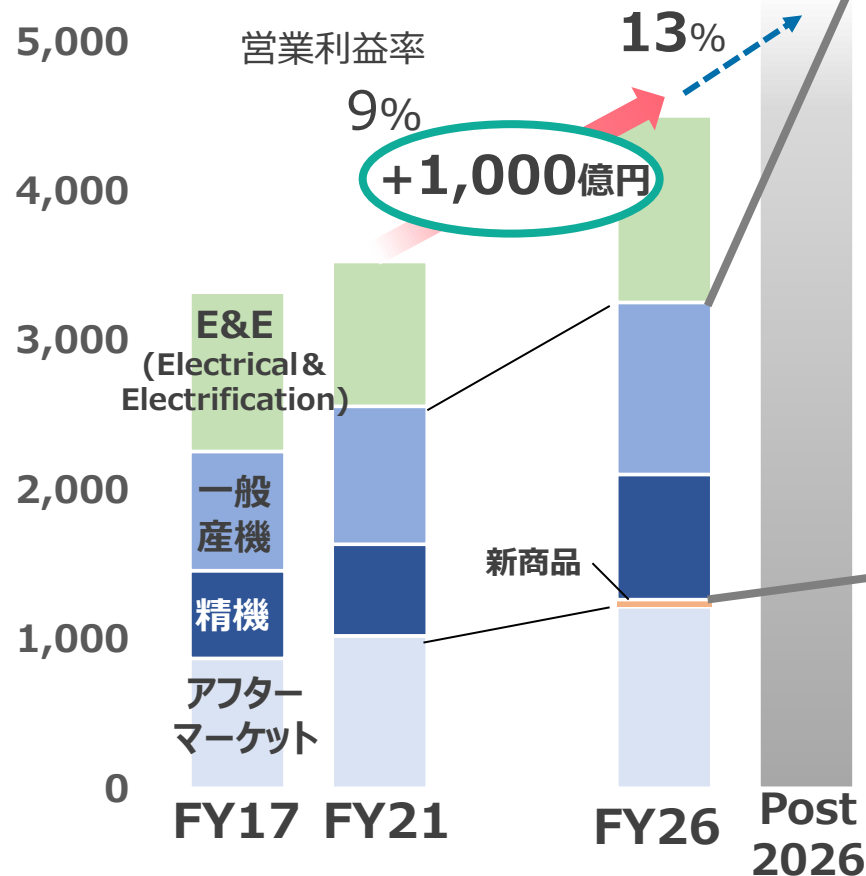
1. 2023年3月期 前半実績
 2. 2023年3月期 通期予想
 3. **MTP2026 -収益を伴う成長へ-**
- (補足資料)

収益を伴う成長 -産業機械事業-

◆目標達成のための今期進捗状況

● **FY26目標 売上高 4,500億円/営業利益率 13%**

産機売上成長イメージ (億円)



1. 電動化、5G等小型モーター向け需要増

目標
+300億円

- » 東南アジアでの工場新設計画進行中
- » 生産超安定化の取り組み推進

2. 自動化、半導体需要拡大と加工の高度化

目標
+300億円

- » 加工技術の高度化で商品力の向上
- 【高速化】高負荷・高速回転対応の軸受
- 【高精度】摩擦安定化を実現したボールねじ
- 【信頼性】耐焼付き性向上グリース
- ※FY2022 プレスリリース 4件実施、JIMTOF出展

3. 風力発電・鉄道・燃料転換

目標
+100億円

- » 富山、新棟竣工 '22/9、生産能力向上
- » 瀋陽工場ライン増設、生産性向上
- » 水素関連：特殊環境対応製品の開発

4. ビジネスモデルの変革による拡販

目標
+250億円

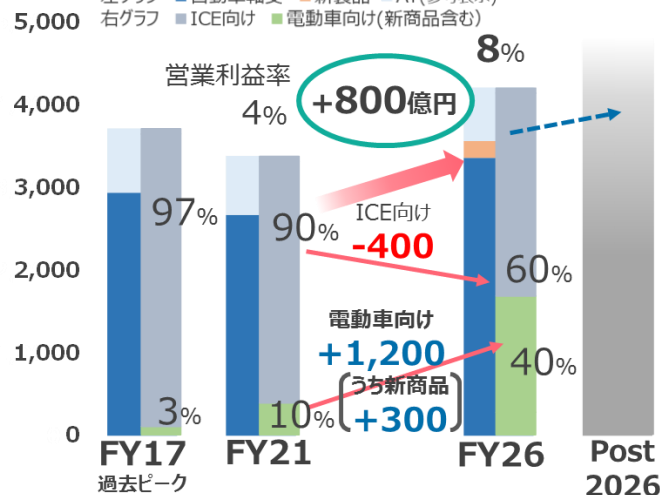
- » PLMモデル確立のための体制構築
- ・CMS事業とBKVとのシナジー加速
- ・北米 リコンディショニング事業開始

収益を伴う成長 -自動車事業-

◆目標達成のための今期進捗状況

●自動車軸受 FY26目標 売上高 3,400億円/営業利益率 8%

左グラフ ■自動車軸受 ■新製品 ■AT(参考表示)
 右グラフ ■ICE向け ■電動車向け(新商品含む)

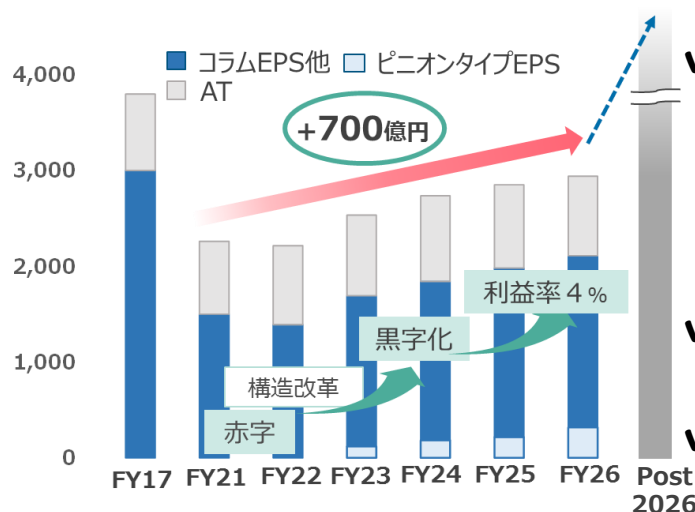


- ✓ 電動車向け案件(+1200億円)の約7割積み上げ
 - »低フリクション HUBユニット：EV専門メーカーへの新規拡大
 - »eAxle用軸受：FY26に対FY22で3倍増
 - »電動油圧ブレーキシステム用ボールねじ：1000万本以上
 - »セラミックボール軸受：自社供給を活かし拡販

✓ 継続した事業拡大と製品開発

- »トラクションドライブ減速機、トルクセンサの開発
- »SUV用テーパーHUBユニットの新規案件獲得

●自動車部品 FY26目標 売上高 2,900億円/営業利益率 4%



✓ステアリング事業復活に向けての受注推進、FY2026の目標の約7割案件積み上げ

- »VW向けEV車用シングルピニオンEPS：100万本の受注
- »EV向けコラムタイプEPSの拡販受注

✓ステアリング事業の合併会社設立に向けた協議継続

✓ステアリング事業構造改革継続

2023年3月期後半 運営方針

✓ 事業環境

世界経済の見通しは依然として不透明な状況が継続

- ≫ 当初計画に対し実質物量減少
- ≫ 追加の売価転嫁反映
- ≫ 為替レートを見直し

▶ 2023年3月期通期業績予想を見直し

✓ 重点課題の推進

継続的な収益体質の改善

- ≫ インフレ拡大に対し追加の売価値上げ・生産性向上
- ≫ 在庫圧縮と生産体制の機敏・迅速なコントロール
- ≫ ステアリング事業の構造改革推進
- ≫ MTP2026施策の着実な実行

1. 2023年3月期 前半実績
2. 2023年3月期 通期予想
3. MTP2026 -収益を伴う成長へ-

(補足資料)

補足. 2023年3月期予想前提

■産業機械事業

セクター別需要見通し

当初計画

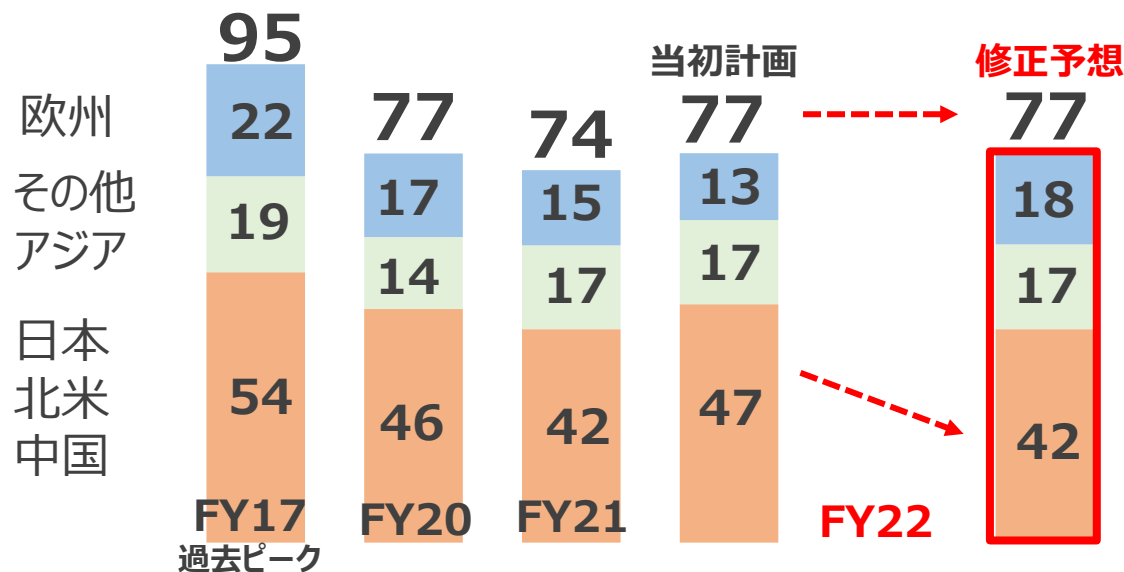
修正予想

	FY22 1H VS FY21 2H	FY22 2H VS FY22 1H	FY22 1H VS FY21 2H	FY22 2H VS FY22 1H
工作機械	→	→	→	→
半導体	↑	↑	↑	→
風 力	→	→	→	→
鉄 道	→	→	→	→
電 機	↑	→	↓	→

✓世界的な景気減速懸念

✓FY22後半は当初想定した
需要環境まで伸びない想定

■自動車事業 グローバル自動車生産台数 (百万台) 当社調べ



✓生産台数はFY20以降
同水準が継続

✓FY22の生産台数見通しは
当初計画から変わらないが
日本・北米・中国で減少

補足. 事業セグメント別業績

(億円)		22/3期		23/3期	対前年同期		23/3期修正予想		前後半
		前半	通期	前半	増減額	伸び率	後半	通期	増減額
合計	売上高	4,178	8,652	4,638	+461	+11.0%	5,162	9,800	+524
	セグメント利益	162	288	146	-16	-10.1%	314	460	+168
	(対売上高率)	(3.9%)	(3.3%)	(3.1%)			(6.1%)	(4.7%)	
	営業利益	157	294	135	-22	-13.8%	305	440	+170
	(営業利益率)	(3.8%)	(3.4%)	(2.9%)			(5.9%)	(4.5%)	
産業機械 事業	売上高	1,653	3,458	1,929	+275	+16.7%	2,071	4,000	+142
	産業機械軸受	1,362	2,835	1,559	+197	+14.5%	1,691	3,250	+132
	精機製品	292	623	370	+78	+26.8%	380	750	+11
	セグメント利益	142	309	205	+63	+44.8%	240	445	+35
	(対売上高率)	(8.6%)	(8.9%)	(10.6%)			(11.6%)	(11.1%)	
自動車 事業	売上高	2,339	4,825	2,523	+184	+7.9%	2,892	5,415	+368
	自動車軸受	1,245	2,596	1,398	+153	+12.3%	1,657	3,055	+259
	自動車部品	1,094	2,230	1,125	+31	+2.8%	1,235	2,360	+109
	セグメント利益	3	-47	-61	-64	-	61	0	+123
	(対売上高率)	(0.1%)	(-1.0%)	(-2.4%)			(2.1%)	(0.0%)	
	営業利益	3	-138	-61	-64	-	61	0	+123
その他	(対売上高率)	(0.1%)	(-2.9%)	(-2.4%)			(2.1%)	(0.0%)	
	売上高	295	597	317	+22	+7.3%	353	670	+36
	営業利益	17	23	1	-16	-93.7%	14	15	+13
	(対売上高率)	(5.7%)	(3.8%)	(0.3%)			(3.9%)	(2.2%)	
	売上高消去	-110	-229	-131	-21	-	-154	-285	-23
その他の営業損益/調整額		-4	100	-9	-5	-	-11	-20	-1

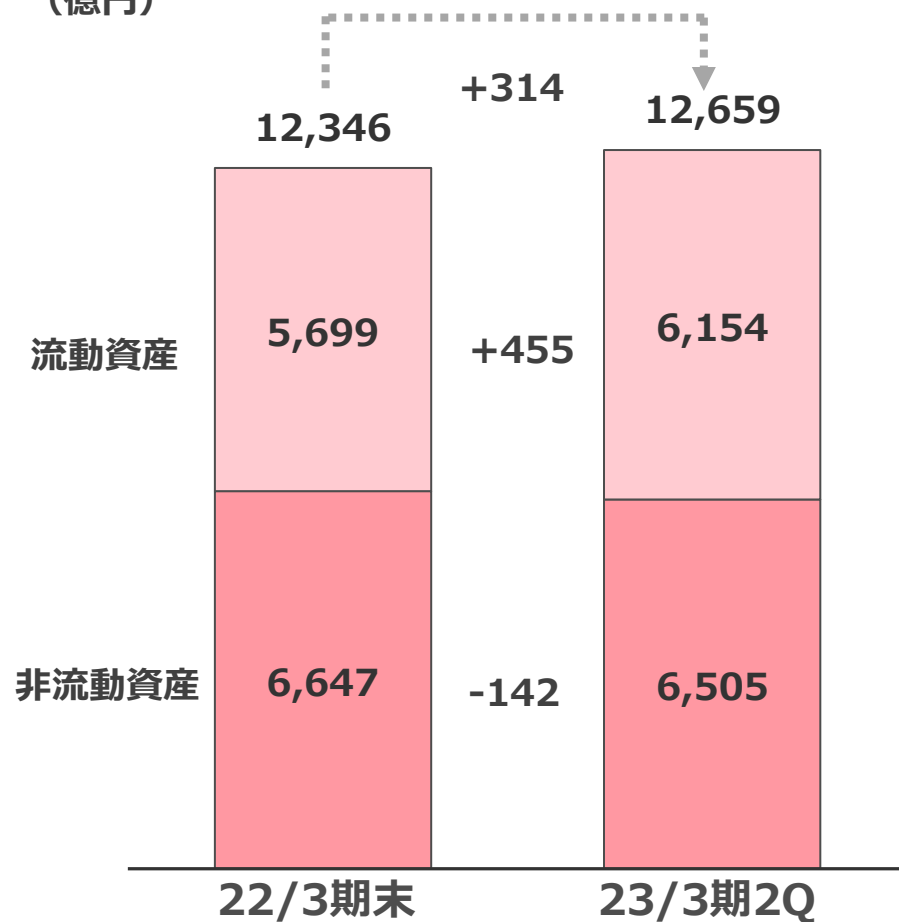
補足．顧客地域別売上高

(億円)	22/3期	23/3期	対前年同期	
	前半実績	前半実績	増減額	伸び率
売上高	4,178	4,638	+461	+11.0%
日本	1,568	1,534	-34	-2.2%
海外合計	2,610	3,104	+494	+18.9%
(海外比率)	(62.5%)	(66.9%)		
米州	604	811	+207	+34.3%
欧州	535	610	+75	+14.0%
中国	858	961	+103	+12.0%
その他アジア	613	722	+109	+17.8%
換算レート				
1USD	109.8	134.0	+24.2	+22.0%
1EUR	130.9	138.7	+7.8	+6.0%
1CNY	17.0	19.9	+2.9	+17.0%

補足. 財政状態

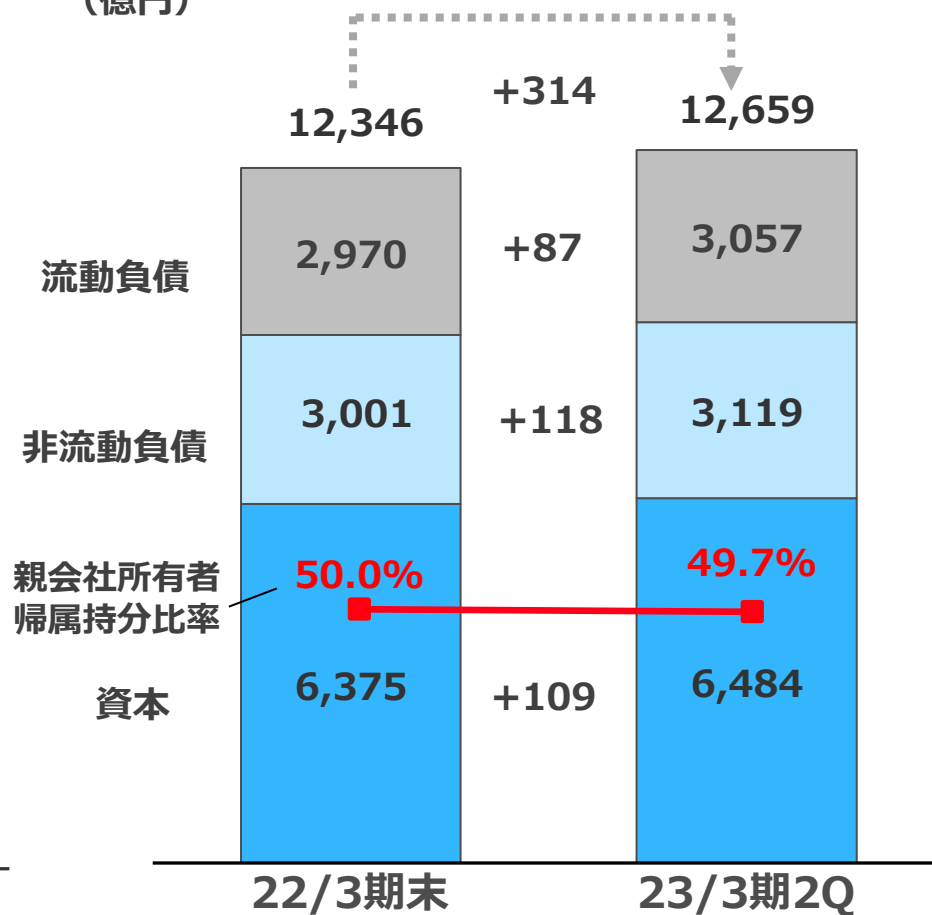
資産

(億円)



負債/資本

(億円)

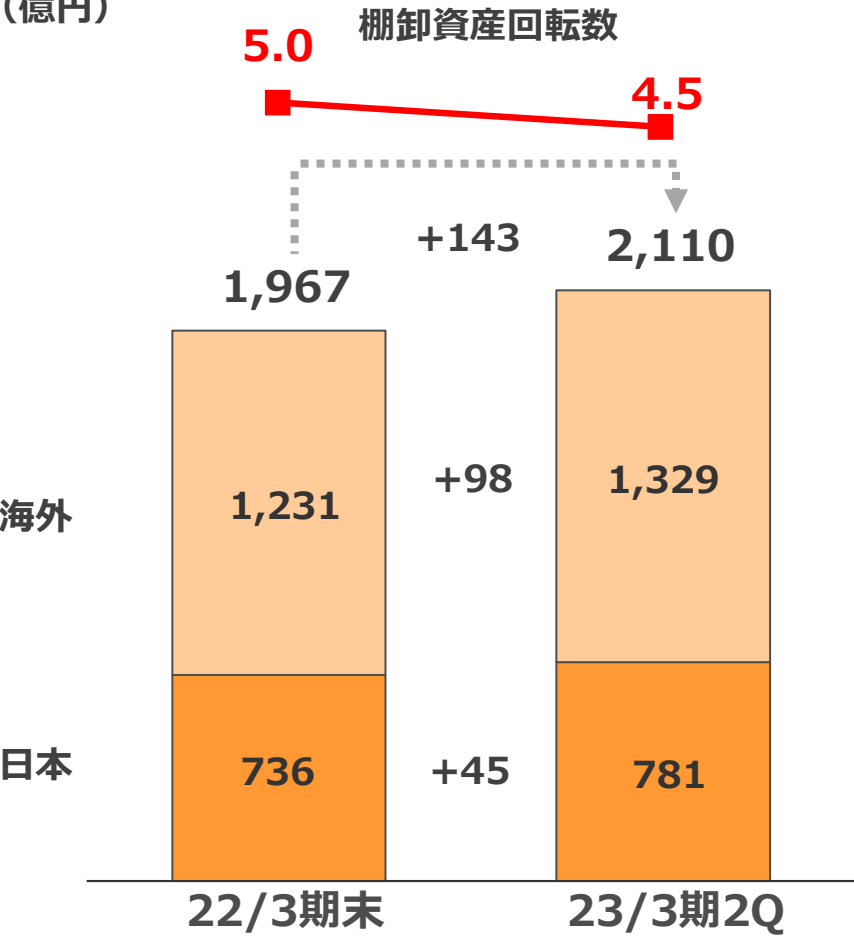


換算レート	22/3期末	23/3期2Q末
1USD	122.4	144.8
1EUR	136.8	142.3
1CNY	19.3	20.4

補足. 棚卸資産/有利子負債

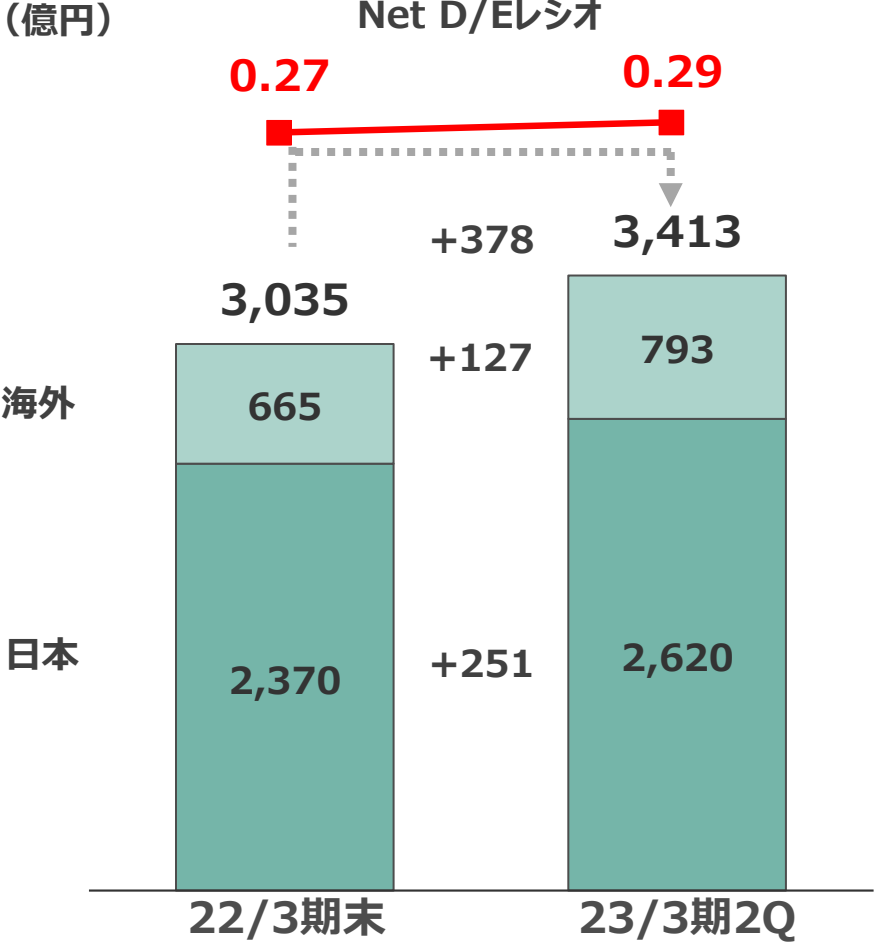
棚卸資産

(億円)



有利子負債

(億円)



換算レート	22/3期末	23/3期2Q末
1USD	122.4	144.8
1EUR	136.8	142.3
1CNY	19.3	20.4

補足. 設備投資額/減価償却費/研究開発費

	22/3期	23/3期		
(億円)	通期実績	1Q実績	2Q実績	通期予想
設備投資額	523	92	142	700
設備投資額 (リース除く)	445	77	114	700
減価償却費	566	143	147	570
減価償却費 (リース除く)	518	130	133	520
研究開発費 (制度決算ベース)	192	45	51	200
(参考) 技術関連費用	308	74	78	320



NSKの企業理念

NSK は、MOTION & CONTROL™ を通じ、
円滑で安全な社会に貢献し、
地球環境の保全をめざすとともに、グローバルな活動によって、
国を越えた人と人の結びつきを強めます。

NSKビジョン2026

あたらしい動きをつくる。

あらたなライフスタイルを生み出し、笑顔あふれる 明日 を実現するための、
次の「動き」をつくる。

社会のニーズをいち早く発掘し、世界中の期待を超える、
誰も想像できなかった「動き」をカタチにする。

私たちが未来を動かしていく。